

平成25年度第2回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成25年7月25日（木）

（昼の部）午後2時～午後3時53分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 環境土木部環境政策課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討（1）「環境情報センター」について
事例検討（2）「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の
施行に伴う「自転車の交通ルール・マナーの習得」について

1 「環境情報センター」について

本年6月2日に京橋スクエアガーデン6階にオープンしました「環境情報センター」について、皆様の期待されることやご意見をお聞かせください。

（既に行かれた方の意見）

意見 センターが入っているビルは緑が多く、素晴らしい環境にある。見せ方もデジタルコンテンツを駆使し、今の子供に向いている。ただ、コンテンツの内容は文字が多く、もっと子供が興味を持てる映像にするなど、工夫が必要だと思った。

意見 檜原村の「中央区の森」の映像は美しく、行きたくなったが、実際にはなかなか難しい。区の主催で区民を連れていくイベントを開催してほしい。

意見 ビル内に環境情報センターの案内掲示がとても少ない。また同じ6階に企業の環境センター的なものがあるが、それとの区別がはっきりしない。

環境土木部環境政策課長（以下、課長） 同ビルの6階は「環境ステーション」ということで、区のほかにも民間で環境ビジネスに取り組む企業の展示もある。今後は、区と民間が役割分担をして、連携しながら取り組んでいきたい。

意見 区民への情報提供の場といいながら、情報提供がまだ不十分だと思う。特に中央区の環境行政に関する基本姿勢がどうなっているのか、もっとダイレクトにわかる形で情報提供してほしい。

意見 交流室、研修室が占める割合が多く、一般区民向けというよりも、環境問題に取り組む団体向けに注力した施設かなという印象を持った。

（まだ行かれていない方の意見）

質問 環境団体向けの施設ではないかなという印象を持ったという発言があったが、一般区民も研修室等の利用は可能か。

意見 センターだよりを読むと、一人でも活動したい一般区民向けのメッセージが書いてあったが、日々の生活の中での節電・節水等、一人でも参加できる活動や方策について、もっとPRしていただきたい。

課長 一般区民の方の研修室等の利用は可能。今のところ、PR不足の面は否めない。今後、積極的にPRしていきたい。

質問 センターの来館目標は？

課長 目標は特に掲げていない。

質問 「かざぐるま」とセンターでの活動の違いは？ 「かざぐるま」と共同で、作品展等、何かイベントができたらいいなと思う。

課長 「かざぐるま」は主にリサイクル関係の活動を、センターは活動の場やネットワークづくりを主にしていきたい。もちろん両者の連携は図っていく。

意見 エコという言葉は心地よい響きがあるが、では、このセンターで具体的に何をするのか、パンフレットからは読みとれなかった。

意見 来館者が中央区全体の環境の状況について把握でき、その上で日々の生活の中で、自分は何ができるかを考えさせる情報提供をしていただきたい。

意見 中央区には隅田川をはじめ、川が多いので、川を有効利用した活動を展開すればいいのではないかと。隅田川も昔は汚かったが、今は大分きれいになった。そして今後、さらにどうしていくかを示してもらいたい。

意見 このような施設は、やはり賑わいが必要。リピーターを増やすための戦略（例：子供向けイベント、パスポートの発行等）をしっかりと立てて取り組んでいただきたい。

意見 目黒の環境プラザ開設・運営を経験しての感想は、やはり賑わいは必要。それも「区民力」を上げ、新たな指導者づくりの取り組みをすることが肝要だと思う。そのため、連続講座を開いたり、出張講座を開くなどをしたほうがいい。それとやはり子供向けの啓発活動に取り組んでほしい。

課長 リピーター戦略としては、子供向けイベントとして、夏休み期間に、いろいろな講座・イベントを充実させていきたい。また、区内の環境活動団体の活動を紹介する展示もあるので、それを見た一般区民の方が参加したくなり、活動の輪が広がることを期待している。

意見 京橋地区は住民も少なく、気軽に立ち寄る場所ではない。そのため、わざわざ行きたいと思わせる価値づくりがセンターには求められる。母親である私としては、乳児・幼児と一緒にでも立ち寄れる場所（例：乳児・幼児の一時預かりサービスや遊び場の設置）になれば行きたいと思った。

意見 夜間は、近隣の事務所に勤める方が集まっていたらセミナーやワークショップを開けばおもしろいのではないかと思う。

意見 せっかく民間に運営を委託しているのだから、歴史のある中央区だからこそできる大胆でドラマチックな演出・イベントの開催を心がけていただけたらと思う。例えば中央区の優れたごみ処理の話とか、隅田川の水質改善の歴史、同ビルでの地中熱利用の話とかを積極的に展示してほしい。

課長 同じ6階にはエリア・エネルギー・マネジメント（地域のエネルギー実態の把握をした上で、地域の方と一緒に、一層のエネルギー利用の効率化を図る）の組織があるので、そことも連携し、活動し、PRも行っていくつもりだ。

意見 「中央区の森」へ行きたくなる、あるいは行くためのガイドブックをつくっていただきたい。

「中央区の森」へのツアーには子供でも、また大人一人でも参加できるのかといった情報を提供してもらいたい。

課長 ガイドブック（パンフレット）を既に作成しているので、今後、紹介していきたい。

意見 街路樹や区内に生息する魚、鳥の名前の標示をもっと徹底してやってほしい。そうすれば、区民ももっと自然に興味が湧く。

意見 センターに、何かもっと親しみの持てる愛称をつけたらどうか。

2 「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行に伴う「自転車の交通ルール・マナーの習得」について

掲題の東京都の条例の施行に伴いまして、自転車の交通ルール・マナーの習得、特に家庭における交通安全教育のあり方と、地域としての具体的取り組み方策について、皆様のご意見、アイデア等がございましたら、お聞かせください。今後の施策に生かしていきたいと思えます。

意見 自転車にも免許制度を導入したらいい。江東区では子供向けに免許証の交付が始まっていると聞く。

課長 自転車の免許制は中央区では具体的に検討はしていない。そのかわり、小中学校では自転車のルール・マナーの講習会を開いている。またお呼びがかかれば、地域にも出向いて児童館等でも講習会を開催している。

意見 子供向けには、やはり学校で交通安全教育の一環としてやるのがいい。それを受けたら認定証みたいなものを交付すれば、子供のやる気も出るだろう。

意見 親が自転車走行の危険性をもっと理解すべきである。子供にヘルメットを着用させない危険性等々、具体的な事故・リスクを記載したチラシ等を配布して啓発してもらいたい。保険加入の勧めの件も同じ。

意見 大人向けのルール・マナーの習得については、自動車の運転免許交付・更新の際の講習で、自転車のルール・マナーについてもしっかりとやるしか、機会がないのではないかと。

意見 大人のルール・マナー習得といっても、「大人」にもいろいろな世代がある。その世代に合った方法でルール・マナーを周知させたほうがいい。

意見 年に何回か、一般区民向けの講習会を開催してもらいたい。

課長 春と秋の交通安全週間を中心に、警察と地域の方と一緒に講習会を開催している。今後も連携して地道に開催していきたい。

意見 危険な自転車走行を見かけたら、軽く注意するように一人一人が心がけていくのが一番いいと思う。

意見 シルバー人材を中心に路上喫煙監視員みたいなボランティアを募り、危険運転防止の声かけをしていくのもいい。

意見 個人的には、街角で配られた自転車のルール・マナーを記載したティッシュをきっかけに、みずからの自転車のマナー・ルールを考えさせられた。

意見 講習会に出てくるような、いつもルール・マナーを気にしている人に啓発のチラシを配ってもしようがない。ルール・マナーに無頓着な人に、いかにこれらのチラシを届けるかが問題だ。そのためには学校（特に高校）とか、自転車販売店での配布を考えるべきだ。

課長 ルール・マナーを気にしない人への配布については、区も課題と考えている。今後、さらに工夫を重ねていきたい。

意見 自転車は原則、車道を走らないといけないうのはわかっているが、実際、車道を走るのはとても怖い。自転車道の整備が必要と思いつつ、警察官の自転車の乗り方をお手本にしている。（最近は少なくなったが、警察官でも歩道を、ゆっくりと走っている姿を見かける）

意見 自動車を運転している人から見ても、自転車が車道を走っているのが怖いらしい。

意見 清洲橋通りなどでは、歩道を自転車用と歩行者用通路に色分けしているが、実際は自転車と歩行者が入り乱れている。中途半端な指示は逆効果だ。

意見 歩道を自転車で走るとは格好悪いという風潮を醸成したらどうか。

意見 東京駅周辺の放置自転車問題は、今度、丸の内側が駐輪禁止になるので、さらに深刻化すると思う。中央区側でもしっかりと対応を。

課長 現在、東京都を中心に警察とともに千代田区、中央区で協議会を設け、対策を検討している。中央区の場合、現在、そして今後行われる大規模再開発の際

には事業者に大型駐輪場の設置をお願いしていて、実際に設置される見込みである。それができるまでの間の暫定的対応として、幅の広い歩道に駐輪場所を設けていきたい。

意見 放置自転車の撤去にかかる費用負担を中央区では徴収していないが、これは徴収したほうがいいのではないか。

課長 現在、区でもその方向で検討中である。同じように区立の駐輪場も使用料をいただいているが、これも受益者負担の観点から徴収しようかと検討中である。ただ、放置自転車の撤去費用を徴収するにも、十分な駐輪場の整備（現在は区全体で19カ所、約4,000台）と適正な使用料の設定をしないと納得いただけないので、総合的にバランスのとれた施策をやっていかないとはいえないと思っている。

意見 月島の地下駐輪場の使用率は50%程度で空きがあるのに、近隣住民は利用できない。このように余裕のある駐輪場はまだまだあるのに、それが十分に活用されていない。もっと既存施設の有効活用をしてほしい。

意見 スーパーマーケット周辺の買い物客の駐輪状況は特にひどい。事業者と連携して対応を願いたい。

意見 この条例によって、自転車を使わせている事業者の意識は改善するかもしれないが、自転車の運転者本人、つまり個人の意識、マナーが改善するかは疑問。それには、やはり警察による取り締まりの徹底と罰金徴収しかないのではないか。

意見 自転車の保険加入も強制にすればいい。

意見 公園内への自転車乗り入れ禁止、あるいは徐行を呼びかける標示を、もっと目立つ場所に設置してほしい。

— 了 —